▼メクトビ錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】ビニメチニブ　Binimetinib　【分類】抗悪性腫瘍剤［MEK 阻害剤］
【単位】▼15mg/錠
【常用量】1 回 45mg，1 日 2 回［エンコラフェニブと併用］■適宜減量
【用法】1 日 2 回
【透析患者への投与方法】常用量（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】eGFR 29 以下でも AUC は 1.5 倍以内（1）
【特徴】MAPK 経路のシグナル伝達分子（ERK）におけるキナーゼ阻害剤．BRAF 遺伝子変異を有する悪性黒色腫，進行・再発の結腸・直腸癌に適用される．
【主な副作用･毒性】眼障害，心機能障害，肝機能障害，高血圧，消化器症状，疲労感など
【安全性に関する情報】
【F】50%以上が吸収（1）
【tmax】1.5hr（1）
【代謝】主に UGT1A1 によるグルクロン酸抱合で代謝（1）CYP1A2，2C19 も一部関与（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 6.5%［po，360hr まで］（1）尿中回収率 31.4%（1）
【CL/F】28.2L/hr（1）
【t1/2】単回 8.2hr，反復 4.1hr（1）
【蛋白結合率】97.2%（1）
【Vd/F】384L/man（1）
【MW】441.23
【透析性】資料なし（1）除去されないと思われる（1）
【O/W 係数】
【相互作用】CYP2B6 を阻害（1）P-gp 及び BCRP の基質（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20240921

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。